経営体の概要

·所在地:山形県高畠町

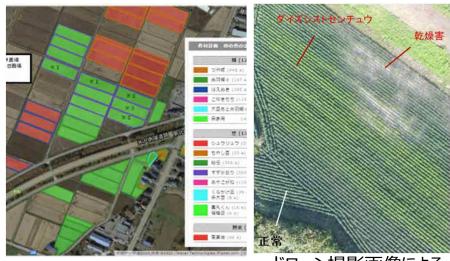
·経営体名:株式会社萩原農園

·栽培作物·作付面積:水稲·13ha、大豆·12ha

•従業員数:5名(令和6年3月現在)

導入技術

- ・圃場管理システム(KSAS、(株)クボタ製)
- ・空撮用・農薬散布用ドローン(2機)



圃場管理システム画面

ドローン撮影画像による 大豆生育状況把握

導入経緯

○ 経営面積の拡大に伴い、農作物生産状況の見える 化と農作業の効率化、高品質化を図っていくために、 ドローンは平成30年、圃場管理システムは令和元年 に導入した。

取組の特徴・効果

- 圃場管理システムの利用によって、水稲と大豆の作付 圃場の決定や、圃場ごとの機械作業の管理がスマート フォンやパソコンで処理可能となり、日々の作業日誌の 入力や出荷時の栽培履歴の作成における省力化が 図られている。
- 空撮用ドローンは、高所からの圃場の撮影により、水稲や大豆の生育状態、病害虫の発生、弾丸暗渠の作業跡の確認等に活用している。
- 農薬散布用ドローンにより作業の省力化が図られると ともに圃場管理システムと連携しデータを蓄積している。
- 圃場管理システムのデータ蓄積を基に、経営内で状況 判断し対策を練って経験の浅い従業員に指示すること で情報共有がしやすくなり、技術の高位平準化が可 能となっている。